



11月 ほけんだより

池上わかばこども園

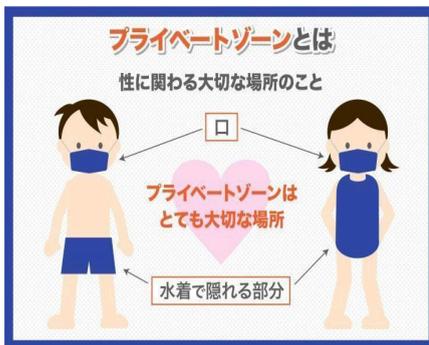
園庭の桜の木の葉が赤くなり、ヒラヒラと舞いはじめました。今年の夏も楽しく水遊びやプール等をたくさん経験した子どもたちですが、着替え等で肌を露出する機会も多くありました。子どもたちが自由にスマホを使えるこのご時世の中で、YouTube等を通して大人の知らないところで情報を得ることも増えてきています。ニュースでも5歳児が「おっぱい」「おんな」と音声入力をし、性について調べるといった事例もありました。

興味・関心を持ち、そういう行動や発言があったのであれば早い段階で、正しい知識を知らせていく必要があります。知らせるタイミングとして、子どもの成長や発達に合わせる事、興味や関心をもった時に少しずつ話していくことが大切です。小さいうちから少しずつ、性について知らせていく事で、大きくなった時の体の変化を受け入れやすくなります。

性について知らせていく事は「一人ひとりが大切な存在であること」を確認し、子どもを性犯罪から守る事にも繋がります。以上のことから園では年齢や発達に応じてプライベートゾーンについて、性教育の一環として知らせていきたいと思えます。もしご家庭でも何か気付いた事・気になる事がありましたら、園にご相談下さい。

プライベートゾーンって何だろう？

(参考:文部科学省ホームページ「性犯罪・性暴力対策の強化について」)



プライベートゾーンとは、自分だけの大切な場所という意味を持ちます。

具体的には、口・胸・お尻・性器の事です。

子どもには「水着で隠れる部分と口だよ」と説明するのも分かりやすいでしょう。男の子の胸は隠れていませんが「性別に関わらず胸はプライベートゾーンになります。



そこで園でも下記の4つのポイントを年齢・発達に応じて伝えていきます。

子どもに伝えたい4つのポイント

1. 自分の身体は「大切なもの」だという意識を持つ。
2. 他人に見せたり触らせたりしない。
3. イヤな気持ちになったら「イヤだ」とはっきり言う。
4. 「イヤ」な時は、逃げてもいい。信頼できる大人に相談する。

【ご家庭での対応】

ご家庭でプライベートゾーンについて「特別に大事な場所」と伝えて下さい。子どもが興味を持った言葉を言って大人が反応すると面白がってエスカレートしていくので「なるべく反応せずにさっぱりした対応」をして下さい。子どもは、自分の言動にあまり反応を得られなければ自然に言わなくなってくるものです。